

不登校だった君 大海原へ出よう

地球1周クルーズを手がける国際交流NGO「ピースボート」が、不登校や引きこもりを経験した若者を主な対象にした「グローバルスクール」を8月出航のクルーズで企画している。航海中に参加者と語り合ったり、世界の寄港地で地元の人々と交流したりして心を解きほぐしてもらおうという「海の上のリースクール」だ。

(原田朱美)

ピースボート・恩田さん発案



恩田夏絵さん

発案したのは、ピースボートのスタッフ恩田夏絵さん(29)。自分も不登校や引きこもりを経験した

経験。「学校に適應できなかったし、空気を読めという同級生の圧力も苦しかった」と振り返る。小学2年生の頃から学校を休みがちになり、中学2年から3年の間は、部屋に引きこもった。なぜ人とうまくつきあえないかと自分を責め、手首を何度も切ったという。

その後、「視野を広げたい」と19歳で飛び込んだのがピース

ボートだった。参加者は年齢も職業もバラバラ。積極的に友だちを作る人、少し距離をとってゆっくり取り組む人……同じ船で、それぞれが楽しんでいた。

恩田さんは「それまでは学校という狭い空間しか知らなかったけど、人間にいろんなスタイルがあるの当たり前だと気付けた」と話す。世界でいろんな人に会い、さらにその思いは強くなった。「人と違ってもいいと思えたら、自分に自信がついた。それから自然に人と話せるようになった」。クルーズ後、ピースボートのスタッフになった。

「グローバルスクール」は、一般の人が参加する通常のクルーズに同乗するかたちで行う。専門家によるコミュニケーションのトレーニングをしたり、グアテマラやモロッコなどの寄港地で現地の子どもと交流したりする。フリージャーナリストの池上彰さんや作家の池田香代子さんから、同乗する予定の著名人

十数人の「授業」もある。

期間は8月2日から10月20日まで。参加費はクルーズ費用99万円とプログラム受講料4万円など。ボランティアスタッフとして乗船日前に作業を手伝うと、作業量に応じて最大全額の割引がある。対象は15〜34歳で、定

員は30人。申し込みは7月上旬まで。詳細はピースボートのホームページ(<http://www.pieceboat.jp/>)。問い合わせはグローバルスクール担当の恩田さんか向坂さん(電話0120・95・3740)へ。受付時間は午前11時から午後8時。